

# 常任委員会の審査から

## 営業戦略農林水産委員会

## 総務企画委員会

**核燃料等取扱税により整備した避難用道路<sup>※1</sup>の周知方法に関する工夫は県民に分かりやすい周知方法を検討していく**

**問** 核燃料等取扱税により整備した避難用道路について、整備した箇所が県民に分かりにくいと、周知方法に工夫が必要と考えるが、所見は。  
**答** 当該税により整備した避難用道路は、現在、路線名のみホームページで公開しているが、今後は整備した区間を表記するなど、県民に分かりやすい周知方法を関係部局と検討していく。  
**問** 常陸国ロングトレイルを本県全体の観光コンテンツとして整備するのは良いが、当初の目的である県北振興を果たせるのか、所見は。  
**答** 県北地域の交流人口拡大



常陸国ロングトレイルコースの奥久慈男体山(大子町)

のため、ロングトレイルの整備を進めており、まずは県北地域の経済波及効果の増大を図ることが前提とされている。(ほかに、出資団体職員の給与の状況、水道事業広域連携に関する県民等への理解促進なども質問)

**生分解性マルチ<sup>※4</sup>の利用拡大に向けた取り組みは従来品との差額を定額補助し、持続的な農業への転換を図る**

**問** 生分解性マルチは労働力が減少する中、省力化に有効だが、高価で普及していない。利用拡大に向けた取り組みは。  
**答** 従来品との差額分の定額補助を認定農業者などに対して行うほか、本県に適した製品の選定などにより、利用拡大を進め、低コスト化を図る。省力化により生産性を高めて所得向上につなげ、持続的な農業への転換を推進する。  
**問** 茨城空港の着陸ルールの弾力化に伴い、ゴルフツアーなどの特色を生かした路線誘致が重要だが、所見は。  
**答** 韓国や台湾のゴルフ需要を取り込むため、本県のバリ



甘藷の収穫を前に徐々に分解が始まった生分解性マルチ(白色円内)

エーションに富んだゴルフ環境や観光地を旅行会社にアピールしてツアー造成を働き掛け、茨城空港のチャーター便や定期便の誘致につなげていく。(ほかに、ナガエツルノゲイトウの防除対策、MICE<sup>※5</sup>誘致の取り組みなども質問)

## 土木企業立地推進委員会

## 防災環境産業委員会

**市町村の避難計画の策定見込みは放射性物質拡散シミュレーションの公表で策定が進むと考える**

**問** 市町村の避難計画について、部長などが一緒に働き掛けることで、早期策定を望むが、策定の見込みと支援は。  
**答** 東海第二発電所に係る放射性物質拡散シミュレーションの公表により、避難計画の策定が進むと考える。必要となるには県幹部が要請に行き、策定に向けた課題解決に取り組んでいく。  
**問** ナガエツルノゲイトウ<sup>※2</sup>の危険性と補正予算における農林水産部との役割分担は。  
**答** 当該植物は繁殖力が極めて強く、農地への侵入などの影響が懸念される。補正予算では、農地への侵入防止を農



農業用水路内に繁茂するナガエツルノゲイトウ

林水産部で、繁茂の著しい農業用水路内の駆除を県民生活環境部で担当することとした。(ほかに、東海第二発電所に係る放射性物質拡散シミュレーション結果、防潮堤工事における県への報告の状況なども質問)

**高度浄水処理施設の完成で水道水はどう変わるのかおいしさを今まで以上に確実に提供できる**

**問** 高度浄水処理施設の完成により、県民に供給される水道水はどう変わるのか。また、送水開始時期は。  
**答** 原水の水質が悪くなった場合でも、施設の完成により水道水のおいしさを今まで以上に確実に提供できる。試運転の送水開始を予定している。  
**問** 道路占用料徴収条例の一部改正に至った経緯は。また、県民に対する周知への対応は。  
**答** 占用者を入札方式で選定できるような道路法が改正されたことや占用の需要が今後見込まれることから、今回の改



高度浄水処理施設(土浦市大岩田)

正に至った。県民に対し分かりやすく周知し、未利用地の有効活用を図っていく。(ほかに、未来産業基盤強化プロジェクト等による市町村への支援、港公園展望塔における修繕と今後の利用再開見込みなども質問)

## 文教警察委員会

## 保健福祉医療委員会

**「全校一斉いばらき美味しお給食」提供の取り組みの展望は減塩の取り組みを社会全体に広げていきたい**

**問** 公立小中学校での「全校一斉いばらき美味しお給食」提供の結果は。また、このような取り組みが日常になってほしいと考えるが、所見は。  
**答** 各校が独自に美味しお給食に取り組むこともあったが、今回、一斉実施で発信力が高まり、内容も好評だった。過度な減塩は残食が増える恐れもあるため、試行錯誤しつつ、おいしく減塩の取り組みを社会全体に広げていきたい。  
**問** 医療機関等物価高騰対策支援金は、申請手続きが煩雑で、支給が遅かったとの声を聞くが、対応は。  
**答** 審査などの人員は、昨年



「全校一斉いばらき美味しお給食」の献立例「美味しく減塩こくうまラン」

度から倍増した。医療系と福祉系施設の両方を持つ法人は、申請の一本化により、効率化している。次期受付でも、手続きの簡素化を図っていく。(ほかに、オーバードーズ<sup>※3</sup>への対策、水戸医療圏での県立病院の在り方なども質問)

**G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合での安全面の取り組みは警備体制の構築などに取り組み、開催としての治安責任を全うした**

**問** G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合における安全確保のための取り組みは。  
**答** 令和5年2月に総合警備対策室を設置し、警備体制の構築や実地踏査、事前広報による交通総量の抑制などに取り組んだ結果、国内外要人の安全と行事の円滑な進行を確保し、開催県としての治安責任を全うしたと認識している。  
**問** 令和6年度県立中学校等入学者選抜に係るWeb出願において、登録未了者などの志願者が発生したことは重大な問題である。今後の対応は。  
**答** 今年度はWeb出願の詳細を入学者選抜実施要項に盛



G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合における水戸市内での警備の様子

り込めなかったため、次年度は実施要項にWeb入力が必要であることや入力期間、重要事項などを記載する。(ほかに、大麻所持の低年齢化等を踏まえたまん延防止対策、在留外国人に対する相談・支援体制なども質問)